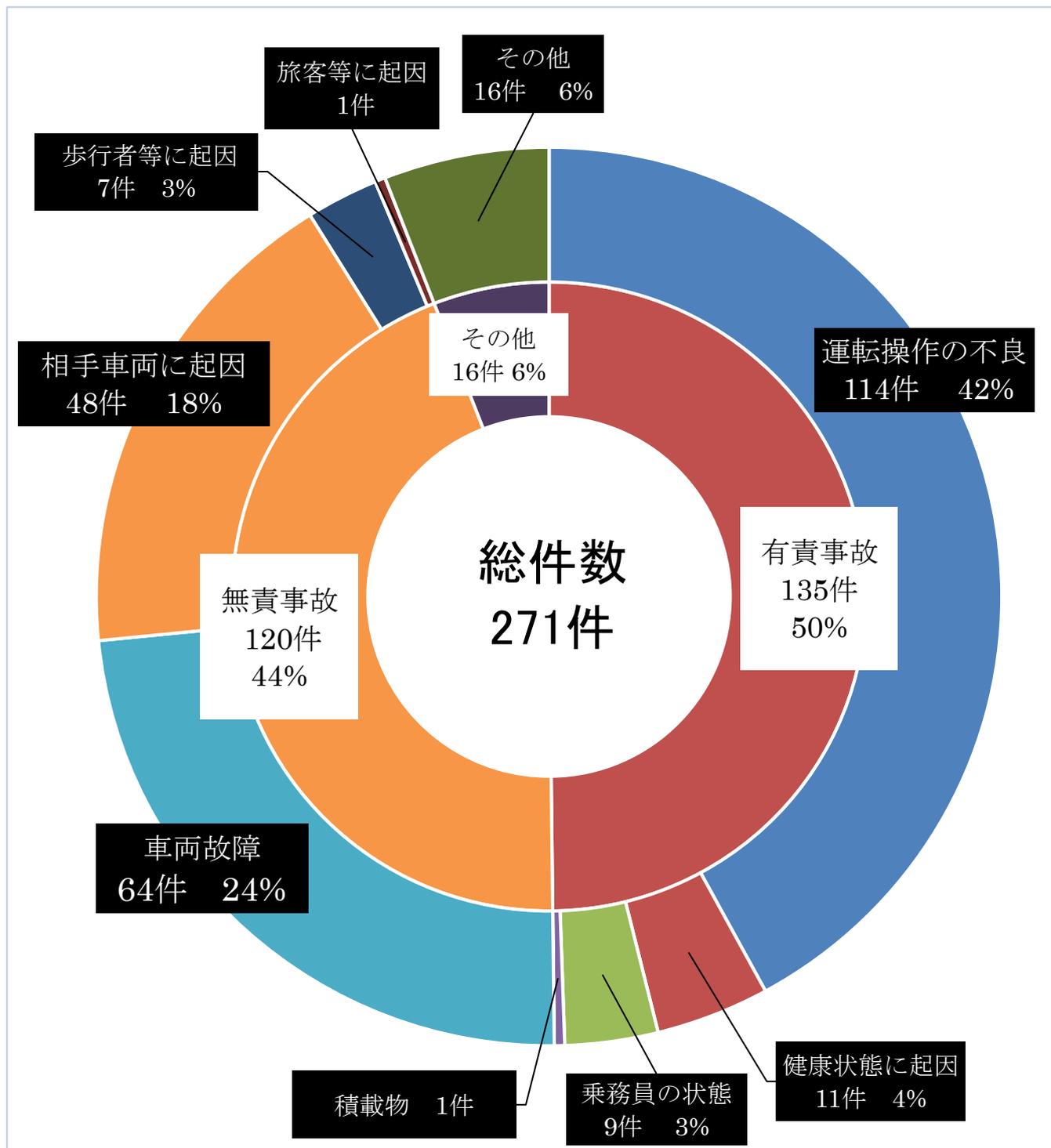


### (キ) 事故原因別発生状況

事故の原因を事業用自動車の運転者に起因する事故(以下「有責事故」という)と相手側に起因する事故等(以下「無責事故」という)に分けると、[図 13]のとおり有責事故が135件(50%)、無責事故が120件(44%)で、有責事故の方が若干高い割合を占めている。また、有責事故135件中114件は、運転者の運転操作不良によるものとなっている。

[図 13] 原因別重大事故発生状況



更に、有責事故について、その内容を業態別、事故原因上位3項目をみると〔表 6〕のとおり。業態別にみるとバスは「発車時の安全確認の不良又は不履行」、ハイタクは「歩行者に対する不注意」、トラックは「漫然運転」による事故が多くなっている。

〔表 6〕 有責事故の状況(第1原因)

業 態	順 位	事 故 原 因	件 数	比 率
バ ス	1	発車時の安全確認の不良又は不履行	12	38.7%
	2	歩行者に対する不注意	6	19.4%
	2	運転者の健康状態	6	19.4%
ハ イ タ ク	1	歩行者に対する不注意	4	13.8%
	2	発車時の安全確認の不良又は不履行	3	10.3%
	2	左折、右折不適切	3	10.3%
ト ラ ッ ク	1	漫然運転	11	14.7%
	2	左折、右折不適切	9	12.0%
	3	脇見運転	8	10.7%

※第一原因のみ集計したもの。